

**健康で幸せな
まちをつくる**

すべての市民が心身ともに健康で、いきいきとした暮らしが送れるような思いやりのある明るいまちづくりを進めます。

第3子以降のお子さんが誕生した家庭をバックアップ

子育て家庭の支援および経済的負担の軽減を図るため、第3子以降のお子さんの誕生を祝い、市内の協賛店舗で利用できる「子育てハッピー券（3万6千円相当）」の贈呈を開始しました。

入室待機児童の解消を目指し学区外の学童保育室への送迎を支援

希望する学童保育室が定員を超えているために入室できない児童や、入室希望がありながら小学校に学童保育室が設置されていない児童を対象として、行田市ファミリー・サポート・センターの協力会員が学区外の入室可能な学童保育室まで無料で送り届けるサービスを開始しました。

誰もが集えるリハビリテーションの場に

総合福祉会館「やすらぎの里」の中庭に、高齢者や障害者が歩行訓練などのリハビリテーションに利用できるよう、ものつくり大学と連携し、階段やスロープなどを設置しました。



ものつくり大学の学生らが設計・施工し改修されたやすらぎの里中庭

一人暮らしの高齢者などを地域で安心サポート

「地域福祉推進市」として国からの指定を受け、「地域安心ふれあい事業」を実施。平成21年度は忍、行田、佐間、長野地区をモデル地区とし、支援が必要な一人暮らしの高齢者などが地域で安心して暮らせるよう、行田市社会福祉協議会と連携して地域の見守りネットワークの構築に取り組んでいます。

また、日常生活において支援を必要とする高齢者や障害者などに対し、サポート（ボランティア）として登録された方々による掃除、洗濯、買い物、話し相手家の片付けなどを行う「いきいき・元気

サポート制度」をスタートさせました。

子どもからお年寄りまで新型インフルエンザ対策

世界的に流行している新型インフルエンザの感染拡大と重症化を防ぐためのワクチン接種を受ける方に対し、費用の助成を行いました。

**個性を伸ばす教育と文化を
育てるまちをつくる**

すべての市民が、それぞれに合った内容、手段、方法で生涯にわたって学習できるような環境づくりを進めます。

生涯スポーツの振興のため多目的広場を整備

市民が生涯にわたってスポーツに親しみ、自らの健康を増進させることができるよう、西部地区（市水道庁舎脇）および長野地区（長野一丁目）にグラウンド・ゴルフをはじめとしたスポーツやレクリエーションなど、さまざまな用途で利用できる多目的広場を整備しました。

児童・生徒の学習環境の向上

児童・生徒が安全で快適に学べるよう、南河原小学校屋内運動場耐震補強および内外改修工事、桜ヶ丘小学校および埼玉中学校の校舎外部改修工事を行ったほか、全中学校の普通教室と全小・中学校の図

書室に扇風機を設置しました。

また、スクール・ニューデール構想に基づく学校ICT整備事業の一環として、小・中学校において、地上デジタルテレビや電子黒板、児童・生徒用のパソコンを導入するとともに校内LAN整備を実施しました。

「自ら学ぶ」市民大学の開校

市民自らが企画・運営を行う「市民による手作りの学校」を目指して行田市民大学が開校しました。98人の受講生からは1年間にわたって郷土の歴史や自然・環境など、幅広い分野を学び見識を高めています。



講師の話に熱心に耳を傾ける行田市民大学の受講生